



全波形データ記録 航空レーザー用データレコーダー

RIEGL DR680



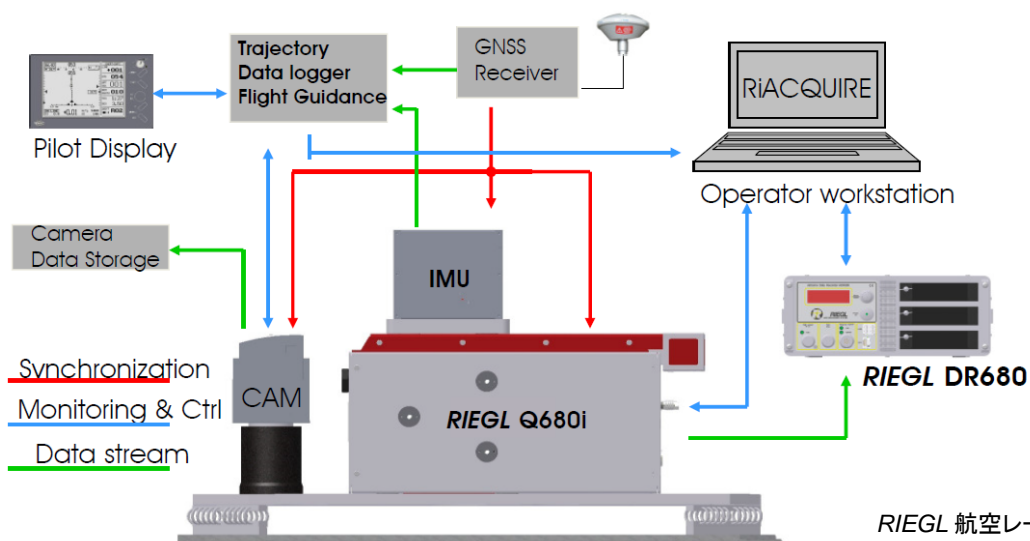
RIEGL DR680 は、3基の SSD ドライブを組み込んだリムーバブルドライブキャリアを使用した RIEGL 航空レーザー scanner 用のデジタルデータレコーダーです。

各種のデータインターフェースを装備した DR680 は全波形処理レーザー scanner RIEGL LMS-Q560 や LMS-Q680i、そして LMS-Q780、並びに新しいオンライン波形処理の V シリーズレーザー scanner で収集されたデータの保存に最適です。

SSD (Solid State Drives) の使用によって、過酷な環境や高い飛行高度における信頼性が大きくなります。これらのドライブはホットスワップ可能型ですので、既に収集されたデータに直ぐにアクセスでき、上空で或いはオフィスでの分析の準備ができます。80 Mbytes/sec. のデータレートは、現在の装置及び次の世代の RIEGL 高速レーザー scanner の要求をカバーする途切れの無いデータ保存を保証します。さらに、オンラインデータ整合チェックがスキャンデータの SSD への転送前に実施されます。

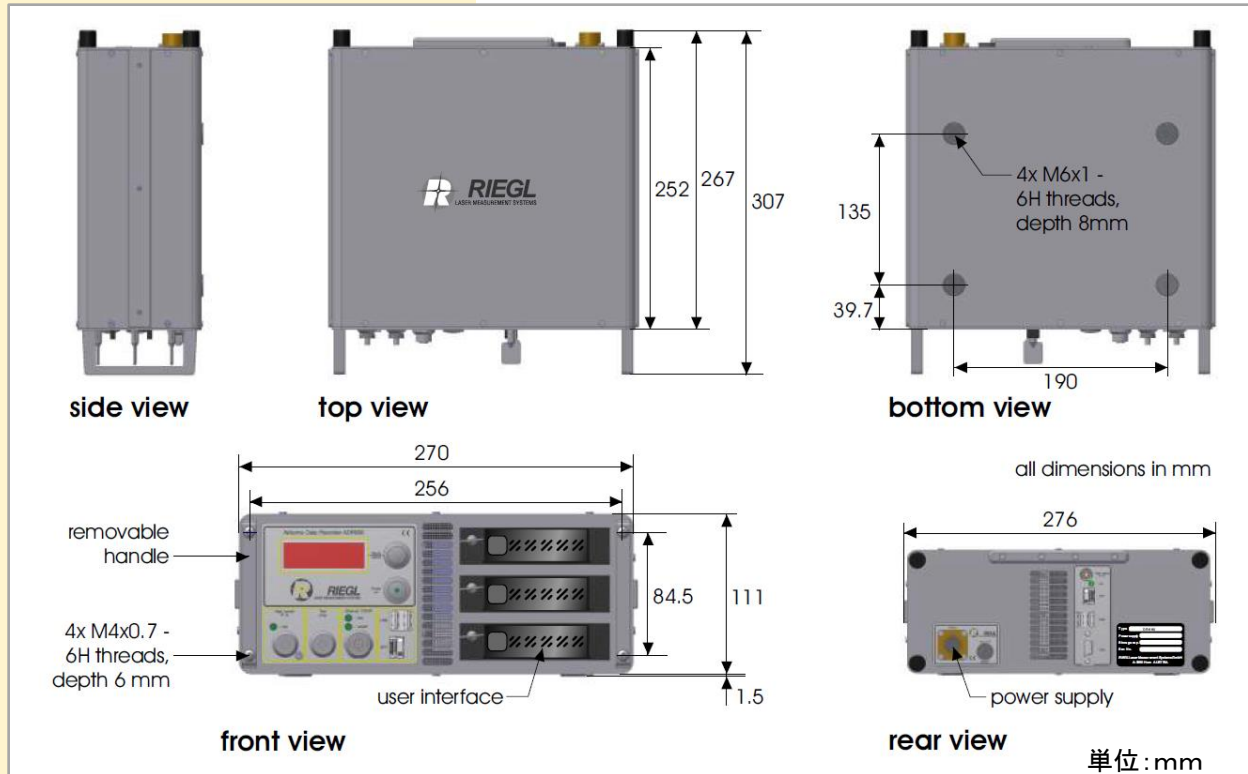
特長

- Solid State Drives (SSD) 3x2.5"
- リムーバブル ドライブキャリア
- 20 時間までの航空測量データのロギング容量
- 高いデータレート : 100 MByte/sec(出力) 80 MByte/sec(入力)まで
- オンライン データ整合性チェック
- 18,000 ft までの飛行高度仕様



RIEGL 航空レーザーシステムレイアウト

DR680 寸法図



DR680 技術データ

データレコーダー性能

記録容量

3 x 512 GByte³⁾

データレート(入力)

80 MByte/sec まで

ロギング容量¹⁾

標準 20 時間

データレート(出力)²⁾

100 MByte/sec まで

(1) LMS-Q680 のレーザーパルス繰り返し周波数 200kHz で、2つのターゲット(200Bytes/測定)、スキャン角 45° の場合。

(2) 最新の PC の SATA インターフェースのある取り付けフレームにリムーバルディスク
(3) 早い技術変化の為、SSD の記憶容量は本データシート発行の時点の数値と異なる場合があります。

データインターフェース

入力インターフェース

2 x 高速シリアルデータリンク

2 x SFP (Small Form-Factor Pluggable Transceiver)

GPS 時間情報を含むデータストリング用に RS232 シリアルインターフェース

GigE-LAN

出力インターフェース

リムーバルディスクキャリアーの SATA

GigE-LAN

USB

一般技術データ

電源入力

18 - 32 VDC

消費流

約 0.8A@24V DC

主寸法

307 x 276 x 113 mm (L x W x H)

重量

約 6.1kg (3 台のドライブキャリアー含む)

最大飛行高度

基準海面より 5,500m (18,000 ft)

温度範囲

0°C ~ +40°C (作動)

-10°C ~ +50°C (保管)